

合併後の地域づくりは

最大限の努力をする



年間250万人の観光客が訪れる筑波山

くりの有効な手段の一つである。合併後の取り組みこそが地域づくりの本番であると思ふが、今後の地域づくりについて伺う。知事 新たな地域づくりという観点からは、まさにこれからであること認識している。合併市町村に対するさまざまな支援策を講じて、県民の皆様にご併して良かったと実感して

いたただけるよう最大限の努力をする。議員 本県が観光立県を目指していくに当たっては、「おもてなしの心」や地域間連携、新たな観光資源の創造などを踏まえた積極的な推進策を図るべきと考へるが、今後の取り組みは、商工労働部長 TXつくば駅などを起点とした広域周遊観光、イベントやロケ地・グルメなどを活用した「新しい観光まちづくり」、接客サービスの向上に取り組んでいく。本県の魅力をさまざまな媒体を使って宣伝し、誘客増大を図る。(ほかに、二ト対策、介護予防への効果的な取り組み、県西地域の振興方策なども質問)



三の丸庁舎正門でのテレビドラマの撮影風景

圏央道活用の企業誘致は 大型補助制度の創設を検討

議員(自民) 自治体間競争に打ち勝ち、元気な茨城を創るためには、県勢発展の起爆剤である圏央道の魅力を活用した戦略的企業誘致が必要であるが、今後

せ、大型補助制度の創設も検討していきたい。議員 本県のイメージアップや企業誘致、観光振興などに大きく貢献するフィルムコミッションの推進方策は。企画部長 新たなロケ適地の掘り起こしを行い、ホームページやパンフレット等の充実により、本県の魅力を映像関係者に積極的に広報宣伝していく。また、実地研修や出前講座等を実施し、全県的な支援体制の確立を図るとともに、フィルムコミッション活動に対する県民の理解を深めるため、幅広いロケ情報を提供していきたい。(ほかに、消防団員の確保策、生活習慣病予防、凶悪犯罪対策なども質問)

少子化対策の取り組みは

子育て家庭を社会で支援

議員(自民) 県立健康プラザの大田仁史氏が推進する「いきいきヘルス体操」を地域ケアシステムにどう取り込むのか。また、市町村における地域ケアの取り組み格差の解消は。保健福祉部長 シルバリーハピリ体操指導士が地域ケアチームの一員として参加し、事業の一部として取り込む。また格差解消に向け、地域ケア事業の研修会の開催や熱意ある地域ケアコーディネーターの育成及び専任化を働きかける。議員 少子化対策として



シルバリーハピリ体操指導士の養成講習会

ける子育て支援対策は。保健福祉部長 本年一月からは乳幼児医療費助成対象を三歳未満から未就学児まで拡大する。地域では、経験者やボランティアの参加による子育て支援や街なかでの子ども一時預かり、子育てアドバイザーの派遣、「家庭の日」の普及など、社会全体での支援に取り組んでいく。(ほかに、百里飛行場民間共用化事業の推進と利用の促進、児童生徒の読書振興策なども質問)

憲法改正論議は

大変意義のあること

停止的な護憲論議でも、復古型の改正論議でもなく、未来志向ある。憲法論議を巡る状況について所見を伺う。知事 我が国固有の歴史や文化、伝統に根ざした価値観や倫理観を大切に、国際社会から信頼され、国民が誇りを持てる新しい国家を創るといふ視点に立つ



海岸侵食の恒久対策が進められている阿字ヶ浦海岸

議員(自民) 現在の憲法論議に必要なのは、思考

て幅広く憲法のあり方を論議することは、大変意義のあることと考えている。議員 阿字ヶ浦海岸の侵食に対する保全工事は、積極的な資源の活用・振興の観点から進める必要がある。現在の保全工事では十分であると考へるが、今後の恒久対策について伺う。土木部長 応急対策として離岸堤、砂止め堤の設置を行ってきた。恒久対策としては離岸堤延伸、突堤の設置、養浜工事を実施する。地元関係機関等と引き続き協議を重ね、恒久対策工事の早期完成に努める。(ほかに、放射線利用高度医療施設の整備、東中根高場線と(仮称)那珂川新橋の整備見直しなども質問)

全国植樹祭開かれる



天皇陛下のお手播き

六月五日に天皇皇后陛下のご臨席を仰ぎ、潮来市の水郷県民の森をメイン会場に、大子町の奥久慈憩いの森をサテライト会場として全国植樹祭が開催されました。

潮来市と大子町会場に 森との共生全国に発信

当日は、約一万一千人の参加の方々の参加のもと、本県の平地林の素晴らしさと森林・林業の重要性、さらには森林との共生の大切さを全国に向けて発信しました。天皇陛下にはケヤキ、スタジイ、タブノキを、皇后陛下にはヤマザクラ、ウリ育てていきたいと思います。私たちが一人ひとりが森林や緑を守るものとして考え、守り育てていきたいと思います。